

第1回

空知総合振興局管内幼児教育振興ネットワーク会議概要

空知教育局義務教育指導班 令和元年12月発行

令和元年12月6日（金）、空知合同庁舎において、管内の各市町から幼児教育施設担当課長及び学校教育担当課長の方々等に出席いただき、第1回空知総合振興局管内幼児教育振興ネットワーク会議を開催しました。本会議では、幼児教育の質の向上に向けた道教委の取組等について確認するとともに小学校と幼児教育施設との引継ぎの課題について、交流を行いました。



説明1 幼児教育の重要性について

- 日本の教育政策と幼児教育について
- 非認知能力について
- エビデンスとしてのペリー就学前計画について
- 就学前教育の重要性
- 新幼稚園教育要領、新学習指導要領について
- 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について



説明2 幼児教育振興基本方針、幼児教育推進センター、センター事業等について

- 幼児教育振興基本方針の策定の趣旨等について
- 北海道の幼児教育の現状と課題について
- 北海道の幼児教育振興の方向性等について
- 幼児教育推進センターの設置と事業について
- ネットワーク会議の趣旨について
- 情報提供に関する依頼について



交流 小学校と幼児教育施設の引継ぎの現状と課題について



美唄市では、全ての幼児教育施設と小学校の担当者が集まって引継ぎを行える場を教育委員会が設定している。

（美唄市教育委員会指導室長 村上 咲枝）



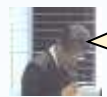
沼田町では、次年度小学校に入学する全幼児の育ちの状況を記録した資料を幼児教育施設側が作成し、引継ぎを行っている。

（沼田町教育委員会課長 三浦 剛）



小学校と幼稚園、保育園が同じ場所に集まり、ブースをつくり、時間を設定して引継ぎを行っている。引継ぎの際には、「そだちのスタートシート」を活用している。

（赤平幼稚園長 大越 かすみ）



岩見沢市内の小学校の中には、10園前後の幼児教育施設から幼児が入学する小学校もあることから、引継ぎを行う日程調整の工夫が必要である。

（空知校長会事務局次長 喜多 慎治）

まとめ 引継ぎに向けた工夫について

小学校の教諭と幼児教育施設の保育者が授業参観を通して、年長児ができることを確認し、小学校入学後の発達の段階に応じた指導を行うことが大切である。

（幼児教育相談員 岸 めぐみ）



教職員の異動により、小学校と幼児教育施設の引継ぎや交流が途絶えることがあることから、引継ぎの内容や交流について小学校内での引継ぎを確実に行うことが大切である。

（幼児教育相談員 種田 貴志子）

